

飼料用米を遊休水田で本格生産させる飼料用米生産支援の新制度が動き出しました！  
安全で美味しい鶏卵・鶏肉や豚肉が増加して、食料自給率も向上します。  
食料自給率向上による食料安全保障の確立を目指そう！  
飼料用米の大量増産と日本型循環耕畜連携の事例に学ぼう！

## 飼料用米を活かす日本型循環畜産推進交流集会 飼料用米普及のためのシンポジウム2015

日時：2015年3月20日（金）午前11時～午後5時

第1部（展示）：11時～12時30分 第2部（シンポ）：開場12時30分 12時55分～17時

会場：東京大学弥生キャンパス 農学1号館 2、3階8番教室

（東京都文京区弥生1-1-1）

第1部 飼料用米に関するパネル展示会

第2部 消費者、稲作農家、畜産農家、流通関係者、公的機関及び農業関係者  
などによる講演、実践報告、質疑応答

（第1部）展示会：資料展示を行います。（農学1号館 3階 農経会議室）

（第2部）シンポジウム 参加費：無料 参加申込締切 3月18日

懇親交流会 午後5時30分～7時30分 希望者 有料3,500円（東京大学消費農学部生協食堂）

総合司会 若狭良治（NPO未来舎 副理事長）

ご挨拶 一般社団法人 日本飼料用米振興協会 代表理事 海老澤恵子

### ＝基調講演＝

「飼料用米の利用推進について」

農林水産省生産局畜産部畜産振興課草地整備推進室 田中誠也 室長

「米の需要拡大に向けた品種開発」

全国農業協同組合連合会 営農販売企画部飼料用米対策課 遠藤 雄士 課長

「飼料用米の生産から消費までの流通に携わって～課題と解決の方向」

木徳神糧株式会社 グループセールス事業部 木村友二郎 部長

### ＝特別講演＝

「食の自給率向上と安全保障」 東京大学大学院国際環境経済学研究室 鈴木宣弘 教授

### ＝事例紹介＝

「耕畜連携による自給飼料増産の取り組み ～水田フル活用を目指して～」

有限会社 アイデナエンタープライズ/有限会社 高秀牧場 高橋 憲二 代表取締役

「コープネットグループにおける「お米育ち豚」プロジェクトの実践報告」

生活協同組合連合会コープネット事業連合 小林新治 執行役員

### ＝質疑応答・意見交流会＝

コーディネーター

東京農業大学 農学部畜産学科畜産マネジメント研究室 信岡 誠治 准教授

閉会のあいさつに代えて 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 加藤好一 会長

主催：一般社団法人 日本飼料用米振興協会

後援：農林水産省

協賛：全国農業協同組合連合会 日本生活協同組合連合会 木徳神糧株式会社

生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 中野区消費者団体連絡会

生活協同組合連合会コープネット事業連合 東都生活協同組合

特定非営利活動法人未来舎

公益社団法人中央畜産会

一般社団法人日本鶏卵生産者協会

FAX 03-3373-8119

一般社団法人 日本飼料用米振興協会（海老澤 宛）

## 参加申込書

2015年 月 日 記入



参加希望者氏名	所属	連絡先(TEL.e-Mail)

## お問合せ先（飼料用米を活かす日本型循環畜産推進交流集会に関して）

メールで 事務局 にお問い合わせください。

メールの場合 [postmaster@j-fra.or.jp](mailto:postmaster@j-fra.or.jp) 日本飼料用米振興協会 事務局

電話の場合 090-3144-3151（若狭） 緊急時

## 参加申込先 〆切は3月18日（水）

FAX の場合 03-3373-8119

一般社団法人 日本飼料用米振興協会 〒164-0013 東京都中野区弥生町1-17-3

メール・ホームページの場合 [postmaster@j-fra.or.jp](mailto:postmaster@j-fra.or.jp)

上記へ郵送 又は FAXして下さい。

なお、参加申込みいただいた個人情報は、本集会の運営に係ること以外には使用いたしません。



**会場案内図 最寄駅 所要時間**

本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線） 徒歩8分    本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線） 徒歩6分  
 湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線） 徒歩8分

●東大前駅（地下鉄南北線） 徒歩1分    春日駅（地下鉄三田線） 徒歩10分